

キャラクター名 プレイヤー名

シンドローム	モルフェウス キュマイラ		ワークス	UGN支部長A	カヴァー	科学者
	オプション		年齢	27	性別	女性
覚醒	犠牲	衝動	解放	初期侵食率	34 %	
出自	名家の生まれ	経験	裏切られた	邂逅	友人(敷島あやめ)	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	35
肉体	4	1	2			7	行動値	5
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	5
精神	0	0	1			1	戦闘移動	10
社会	2	0	0			2	全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	5		射撃			RC			交渉		
回避	1		知覚			意志	5		調達	5	
運転:	2		芸術:			知識:			情報: UGN	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ジュラルミンシールド	白兵	7r+2	6	2		
		0				
59↓ポム	白兵	7r+5		10		[a+b]+dで対象:範囲(選択)。装甲無視。@7
59↓ポム+飛礫	白兵	7r+5		14		[a+b+c]+dで対象:範囲(選択)。装甲無視。@7

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
ジュラルミンシールド	
ウェポンケース	
思い出の一品	
コネ: UGN幹部	

合計装甲:	0	合計回避:	0
-------	---	-------	---

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
グレイファントム	P 有為	N 脅威		
父親	P 感服	N 隔意		
仇	P 同情	N 敵愾心		
敷島あやめ	P 好意	N 不安		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P:	14	残り財産P:	0
--------	----	--------	---

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト	3	2	メジャー					
効果:	クリティカル値-Lv (下限値7)							
インスタントボム	5	3	メジャー	至近	-	対決	-	
効果:	攻撃力+「Lv*2」(装甲地無視)							
飛礫	3	2	メジャー	20m	単体	対決	-	
効果:	組み合わせた白兵攻撃の射程を20mに変更する。(攻撃力+4、シーンLv回まで)							
ギガンティックモード	1	3	メジャー	武器	範囲(選択)	対決	-	
効果:	選択的に範囲攻撃に変更。(装備している武器はすべて破壊される)							
イージスの盾	3	3	オート	至近	自身	自動	-	
効果:	ガード値+(LV)D10							
無上厨师	1		常時		自身	自動		
効果:	自らの肉体を操作することで、理想の体型を維持する。(暴飲暴食OK)							
体系維持	1		メジャー			自動		
効果:	大気や物質を使って、よく知っている料理を作り出す。何でも! 充実に!							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

(作成中)

香耶は、江戸時代から名の高い名家である児島家の娘として生まれた。児島家の人は、昔は代々藩に仕える医者として活躍してきたが、明治維新以後は西洋の医学を受け入れ、病院や研究所などを建てるようになった。今は遺伝・生命工学などにおいて世界的な競争力を持つ「児島製薬」を経営している。

父親は、家を継ぐ者としての責任感が強く、非常に厳しい人。香耶は、有能であり、気品のある父親を尊敬する一方、近寄りたいたいとも思うようになった。その分、優しい母親と一つ上の兄を心を振り所としていたのである。こうして香耶は裕福な家で育っていたが、ある日を境目に彼女の人生は大きく変わった。香耶がまだ高校生だった頃、兄がFHの誘いに唆されてしまい、児島製薬の機密資料などを盗むことを指示され、それを行動に移したのだ。元々はバレないはずなのだが、まだ力を思うが儘に操ることは出来なかった彼は、母親に犯行の現場を目撃されてしまった。ドアの向こうに隠れ、彼女が怪我をして苦しんでいるのを目撃した香耶は、泣き声を抑えながら、「お母さんを護る力さえあれば、助けに行けるのに…。護る力が欲しい」と願った。その瞬間、不思議な感覚が体中をはしり、気がつくとも周りには爆発の跡がいくつが残されていて、兄は窓を飛び降りて逃げようとしていた。香耶はすぐ母親を助けようとしたが、もう遅かったのである。

幸い、父親は留守だったため無事で、母親と父親両方を失うことは無かったが、当然この事件は今も心の大きな傷として残っている。事件後もなく、UGNが香耶と接触し、彼女を保護することになった。数年が経ち、香耶は遺伝学の博士となり、今は児島製薬の研究所で働いている。一方、その知識や独特な戦闘スタイル等を用いて様々な任務を成功させ、UGNのN市支部長に任命され、支部長としての業務も遂行している。

香耶は、基本真面目な努力家で、堅いと言われることもあるが、謙遜で優しい性格。しかし、嫌いになった相手とはなかなか中直りしようとしない。